

第3章

アクションプログラム



第3章 アクションプログラム

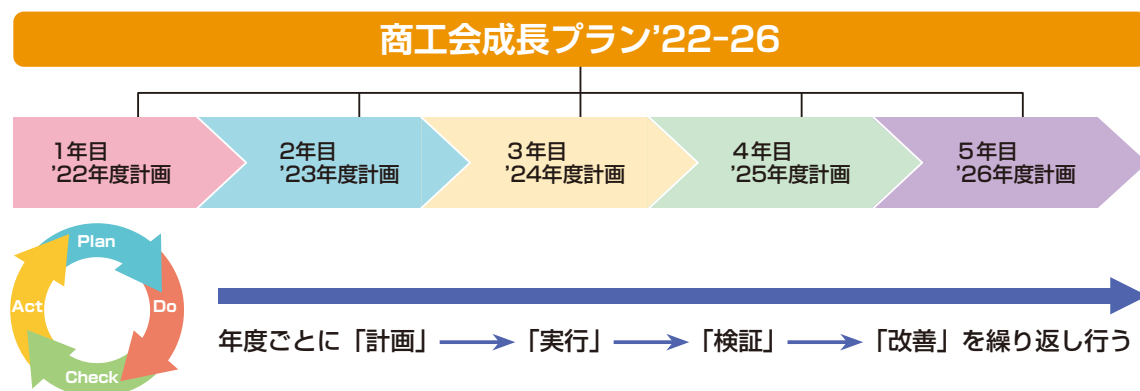
1 プログラムの概要

(1) プログラムの役割・性格

アクションプログラムは、商工会・県連合会の最上位の総合計画として位置づけられている「商工会成長プラン'22-26」を実現するための具体的な行動計画です。

商工会・県連合会が、限られた経営資源の中で事業を効率化し、その成果を高めていくため、具体的な取組を示すとともに、各年度事業計画に反映し、着実な推進と実効性を確保するための数値目標と工程表を明記しています。

また、アクションプログラムの推進に当たっては、事業者ニーズや社会経済情勢の変化に応じて、取り組む課題を明確にして推進するとともに、成果等の検証、短期的な視点から達成度を確認するだけでなく、中長期的な観点から、目標の見直しや事業の方向性を確認しながら柔軟に推進していきます。



(2) プログラムの政策体系

アクションプログラムは、目指す姿を実現するための進むべき方向となる「戦略」と、戦略に掲げた目的を達成するための課題となる「施策」、施策の目的を達成するための具体的な手段となる「取組」の3層構造で構成しており、これを政策体系と位置づけています。

特に、戦略については、商工会と県連合会が共有する課題について、連携を強化しながら推進する「共通戦略」のほか、それぞれ地域や組織が抱える特有の課題や特徴ある取組を活性化させるための「独自戦略」を設定しています。

また、戦略や施策、取組が、それぞれ複数の視点から取り組み、状況確認できるよう、1つの戦略には2つ以上の施策を、1つの施策には2つ以上の取組を設定しています。これは、戦略・施策・事業評価制度における評価体系に直結させることで、より効果的・効率的な評価が実施できるように連動していることにもつながっています。

